

第 1665 回例会報告

令和2年10月29日(木)晴

会長挨拶

炭素の発生削減と 再生可能エネルギーの普及 会長 田中久登

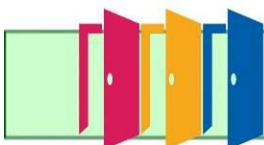
今週話題となったのは、なんといっても、菅総理大臣の所信表明演説でしょうか。話題と言うことで10月と言えば昔は味覚の秋、スポーツの秋、紅葉の秋、皆さんも若いころは、『まだあげ初めし前髪的林檎のもとに見えしとき、前にさしたる花櫛の、花ある君とおもいけり、やさしく白き手をのべて林檎をわれにあたえしは 薄紅の秋の実にひとこひし初めなり』(島崎藤村の詩 初恋)などと途方もない夢を描いて、紅葉の木の葉がおちるのを眺めて涙を流された経験者もいらっしゃると思いますが、この林檎畑が昨年の豪雨災害で長野県は多くの被害が出ました。



話はもどりますが、菅総理大臣が遅ればせながら、2030年までに2酸化炭素の発生を50%までに削減、2050年には実質ゼロにすると表明しました、すでにEUをはじめとする多くの国々で30%削減を達成し、2030年10年後にはほぼ100%削減の国も現れています、さらにアメリカカリフォルニア州では15後ガソリン車の販売停止、フランスでは2040年までにガソリン・ディーゼル車の販売をやめるなど大きく社会の変革が進みそうです。

電気自動車の電気は非常に大きく、多くの発電所が必要になります。電気を現在のように石油や、石炭、天然ガスで作っては意味がなく、再生可能エネルギーで作らなければ意味がありません。素晴らしいことに電気自動車の燃費は、ガソリン車にたとえると、1L走行燃費が、30～40円程度で、3分の1から5分の1程度で走ります。再生可能エネルギーの普及のポイントは蓄電池と太陽光発電の技術革新がさらに求められています。太陽光発電では太陽エネルギー変換効率50%も現実の視野に入りつつあります。現在、太陽光発電パネルの価格は、窓ガラスの価格より安いか同じくらいです。近い将来電気は太陽から無料で得られる時代がやってくると思われれます。水素利用では、ヨーロッパ、中国もそれぞれに研究開発が加速、普及時代も近づいています、自然保護の観点からも再生可能エネルギーの普及は非常に大きな効果があります。今後も目が離せません。

♪出席報告		♪ニコニコBOX		♪今週のこぼ
会員数	38人	8人	16000円	幸いな事に、私たち諏訪湖RCメンバー関係者で新型コロナウイルスに感染した人はいません。この幸せが続きますように 会長 田中久登 10月10日を延期した産業まつりを11月7日土曜日午前11時から午後3時まで開催をします。夜7時から約40分間1760発の花火を諏訪湖沖で打ち上げます。好天を祈ってください 御子柴文夫 本日は卓話の機会を与えていただきありがとうございます。よろしくお祈りします 成山秀幸 今月10日生まれ77才になりました。お祝いをありがとうございました 小林聖仁 30年在籍の表彰をしていただきました。ありがとうございました 河西達雄
出席対象	38人	累計	212000円	
出席者数	24人	目標額	60万円	
出席率	57.8%	達成率	35.3%	
前回修正	100.0%			



第1665回例会 発泡スチロールはどこへ

成山国際奉仕委員長卓話

成山秀幸国際奉仕委員長の職業から、皆の関心が高くなっている発泡スチロールなどの廃棄物の行方をお話いただきました。

しかも押しボタン式のアンケート集計方式による参加型卓話で、委員長の「眠らせないぞ！」という意気込みの通り皆が参加できた卓話でした。そのことは最後に行われた質疑応答が活発であったことからもうかがわれました。

11月19日例会は、続編「PETボトルはどこへ」が開催されます。楽しみです

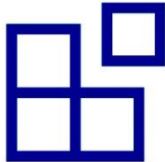





溶解後のうんち型物質は受け狙いと思われましたが不発でした



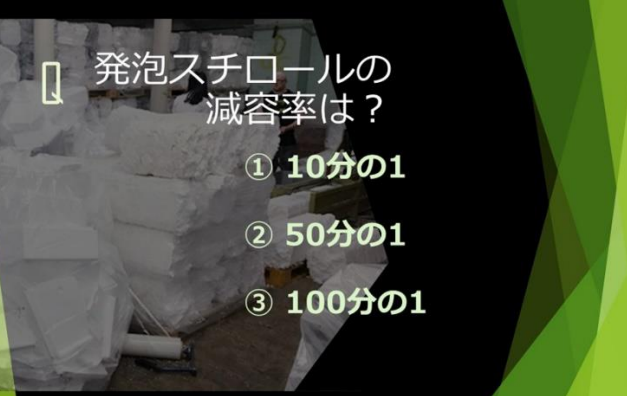
本日は、コンピュータの操作のために成山委員長のお友達である八木様が同行していただきコンピュータとアンケート集計装置の操作をしていただきました。ありがとうございました。11月19日の例会も同行しお手伝いしていただきます

❏ 発泡スチロールはどの国へ行くでしょう？




- ① インド 
- ② インドネシア 
- ③ マレーシア 

❏ 発泡スチロールの減容率は？




- ① 10分の1
- ② 50分の1
- ③ 100分の1

❏ 発泡スチロールは次に何の製品になるでしょう？



- ① バケツ
- ② 額ブチ
- ③ おもちゃ

❏ 発泡スチロールのリサイクルについて理解できましたか？



- ① よく理解できた
- ② まあまあ
- ③ 全くできない

担当国際奉仕委員会